

第8回国際交流クリスマス会

那須烏山市国際交流協会では、歌やゲーム、食事などを通して、外国出身の人たちと市民の交流を深めようと、12月18日㈬、風月カントリーコンサートで、「第8回国際交流クリスマス会」を開き、10カ国39人を含む市民や会員84人が参加しました。



全員で仲良くゲーム。

アトラクションでは、市内小中学校に勤務するALT(外国語指導助手)が英語でクリスマスに関する詩を朗読し、日本語教室の生徒によるインドネシア語の歌や、タイの民族衣装でお祝いの踊りが披露されました。また、ガールスカウトによる歌や、それぞれの母国語でクリスマソングを合唱するなど楽しい時間を過ごしました。そのほか、ふれあいタイム、ビンゴゲーム、じゃんけんなどが披露されました。



民族衣装をまといタイの踊りを披露。

同協会では、2月16日㈪、烏山公民館で「外国人による日本語で話す発表会」を開催します。

これは、母国を離れて本市に住む外国人が、日常生活をとおして日本文化への驚きなどを発表し、地域の皆さんに異なる文化への理解を深めてもらうためのものです。

日程や内容等は、お知らせ版(平成26年2月1日号)に掲載します。詳しくは、生涯学習生涯学習担当 ☎ 0287-881-6223までお問い合わせください。



料理に挑戦する子どもたち。

こども館 親子ふれあいクリスマス料理に挑戦

こども館

ボランティアグループMAKE

生演奏をプレゼント！

12月7日㈯にボランティアグループMAKE(高森康夫会長)による、「サンタクローズ事業」が行われました。

この事業は、こども発達支援センター「くれよんクラブ」に通う家庭を、サンタやトナカイ、天使に扮したメンバーが栃木県交響楽団有志による「エンゼル楽団」とともに訪問して、バイオリン、ピオラ、チェロなどの弦楽器の生演奏やプレゼントを届けるものです。

最初はびっくりして泣き出す子もいましたが、エンゼル楽団の素敵な演奏やプレゼントを渡されると、満面の笑顔で少し早いクリスマスを楽しんでいました。



美しい音色でクリスマス気分味わう。

親子で一緒に料理を楽しむ「こども館の親子ふれあいクリッキング」が12月13日㈮に保健福祉センターで開かれ、26人の親子連れがクリスマス料理に挑戦しました。

子どもたちは、初めて使う調理器具にに戸惑いながらも積極的に野菜をちぎったり、ミックス粉を混ぜたりと料理のお手伝い。出来上がった小松菜ケーキの鮮やかな緑色とグリルチキンの赤いトマト

ソースの盛り付けに子どもたちは「クリスマスの色だ！」と歓声をあげて喜んでいました。出来上がった料理はとてもおいしかったようで「お家でまたつくろうね」という親子の会話があちらこちらから聞こえ、子どもたちの笑顔が会場いっぱいにあふれています。

明るく、楽しい、活気のある商店街を目指して

金井商業会でイルミネーション

金井商業会（小川清会長）では、地域商店街活性化事業の一環として

「明るく、楽しい、活気のある商店街」を目指し、商店街の37基の街路灯に、市のイメージキャラクターをモチーフにしたイルミネーションを設置しました。

これは、全国商店街復興連合会の「にぎわい補助金」を活用した事



プレゼントを受け取りにっこり。

新年に思いを込めて
200本の門松作り



丹精込めた門松が続々と…。

12月中旬、シルバー人材センターで恒例の門松作りが最盛期を迎えました。今年は、7人の会員が11月中旬から竹の切り出し作業を開始。200本余りの竹を切り、大小さまざまな門松約100対を作りあげていきます。

同センターの門松づくりは20年以上の実績があり、市内外で好評を博しています。また、毎年、市役所烏山・南那須府舎等にも寄贈され、華やかに新年を飾っています。

代表の鈴木定男さんは、「新年が希望あふれる年になるように心を込めて、一つひとつ作ります」と話していました。会場にはメンバーが丁寧に作りあげた多数の門松が立ち並び、出荷の準備を待っていました。

クリスマスイベント

2013イルミネーションin那須烏山

那須烏山市観光協会や市民ボランティアによるイルミネーション

in那須烏山実行委員会（佐藤邦行委員長）では、12月23日（月祝）、市役所南那

須府舎隣のイルミネーション会場で、クリスマスイベントを開きました。

24万個の光が照らす中、子ども

たち約300人にサンタクロースやここなす姫等から一足早いクリスマスプレゼントが贈られました。プレゼントを受け取った子どもたちは、サンタの帽子をかぶつたこころなす姫等と記念撮影するなど、クリスマス気分を満喫していました。

また、来年度は場所を移動し、山あげ会館周辺で開催されることになっています。

児童が乳しぼり体験

酪農組合青年部（小森崇宏代表）

は、12月13日（金）、荒川小学校で酪農体験事業を開き、3年生の児童47人が、乳しぼりやバター作り体験に挑戦しました。

子どもたちは、間近で見る牛



荒川小に“牛”がやって來た！

て、乳しぼり体験を通じて牛乳を好きになってくれたら」と話していました。

子どもが、乳しぼりやバター作り体験に挑戦しました。

子どもたちは、間近で見る牛に緊張しながらも酪農組合のメンバーの指導を受け、上手にしほっていました。中沢花音さんは、「牛は思ったより温かくて驚いた。バターは作るのに腕が痛くなつた」と笑顔で話していました。

また、小森代表は、「もっと酪農の理解を深めて欲しい。そし



初めての乳しぼり体験に笑顔。

七合小6年 齋藤舞奈さん

人権ボスターで県最優秀賞

七合小6年の齋藤舞奈さんが、「平成25年度栃木県子どもの人権ボスター原画コンテスト」(宇都宮地方法務局・栃木県)

人権擁護委員連合会主催)小学6年生の部で最優秀賞を受賞しました。

齋藤さんの作品は「思いやる心」をテーマとし、点字ブロック上に置かれるモノが視覚障がい者にとってどれほど迷惑になるか訴えるものでした。



最優秀賞を受賞した齋藤さん。

幼い頃から絵を描くのが大好きという齋藤さんは、「ニュースなどで取り上げられているのを見て心に響き、この絵を描こうと思った。自分が賞を取りなんて思っていなかつたので、びっくりした」と話していました。

那須烏山市
歩こう会

実績認められ名誉会長賞

那須烏山市歩こう会役員の皆さん。

那須烏山市歩こう会(内藤允代表)

が、「第22回とちぎ教育振興大会」

で名誉会長賞を受賞しました。

大会は、教育の尊重や振興の気

運を高めようと毎年開かれている

もの。「名誉会長賞」は、長年地域の

教育や社会貢献活動に積極的に取

り組み、顕著な功績があつた団体

や個人に対して贈られるもので、

県内受賞者は同会を含め、4団体

でした。

同会は、平成5年に住民の健康

でいました。

づくりした」と話していました。

役員の皆さんには、「これまでの活

動が認められてうれしい。今回を

節目とし、今後も楽しみながら取

り組んでいきたい」と声をそろえ

8020運動

「良い歯」で塩澤マキエさん 堀江キミエさんが受賞

87歳で31本の歯を保つ塩澤マキエさん(高瀬)が、8020推進財団理事長賞を受賞しました。

昨年の6月に人生初の歯医者を経験したという塩澤さんは「特に気をつけていたことはないが

自分の親や兄弟みんな歯も身体も丈夫なので遺伝なので」と笑顔で話していました。また、「ここ何十年も病気にもかからず健康で過ごしている」と話していました。



堀江キミエさん(中央2丁目)は、82歳で自分の歯が25本で、歯科医師会長賞を受賞しました。

食後はもちろん、朝起きて食事をする前にも歯磨きを欠かさないという堀江さん。「戦時中は、歯づくりに貢献してきました。

笑顔がお似合いな塩澤さん。



「親のおかげ」と話す堀江さん。

ラシもなく指に塩をつけて磨いていた。当時は、親に言われてただやっていたけれど、今につながっていると思うと親に感謝したい」と話していました。



100万ドルの夜景を
バックに記念撮影
(1号車の皆さん)。

JR烏山線の利用向上と市民の交流、行政区の活性化を図るうと、今年度も「第6回那須烏山市民号」が運行され、63人の市民が11月10日

那須烏山市民号

北海道3日間の旅を満喫

日(木)から12日(火)にかけて、2泊3日の南北海道の旅を満喫しました。

現地では、100万ドルの景色

と言われる函館の夜景や小樽、定山渓温泉等を巡り、北海道名物のジンギスカンや海鮮丼、海鮮鍋等、本場の味を堪能しました。2日目には小雪も舞い、晚秋から初冬の北海道を一度に楽しむことができたようです。

一行は、宝積寺駅までJR烏山線に乗車し、利用向上に一役かいました。

市の文化財 第33回



木造・薬師如来坐像(森田)

市指定文化財

芳朝寺に現存する仏像です。像高53cm、カツラ材、複数の木材を組み合わせ像とする技法(寄木造)で作られています。円満な表情、頭頂部の肉髻が丸く盛り上がり螺髪が小さい、流れのような衣文の表現など、平安時代に流行した定朝様の特徴が見られます。

定朝とは、約1000年前に活躍した大仏師で、大陸の影響を受けていた当時の仏像彫刻から脱却して、新たに和様の制作技法(定朝様)を確立し、日本の仏像彫刻に大きな影響を与えた人物です。

本像は、部分的に後世の補修を受けているが、制作当初の面影を色濃く残しており、市内に残る定朝様の仏像として貴重です。



英語も堪能な高野さん。

高野ユキヨさん(大桶)が、12月18日(水)に満100歳を迎え、大谷範雄市長から、花束や祝詞などが手渡されました。

現在は、週2回のデイサービスに通い、レクリエーションをしたり、みんなの前でピアノを弾いたりするのが楽しみと話すユキヨさん。施設の皆さんからもらった100歳祝いの寄せ書きには、「またピアノを聞かせて

ね」といったリクエストもあり、ピアノの演奏を楽しみに待つファンも多いようです。

ご家族の「これからも穏やかに過ごし、元気で長生きしてね」との語りかけにユキヨさんは笑顔。家族みんなが、100歳の誕生日を喜びあう温かさを感じました。

高野ユキヨさん(大桶)

祝100歳



心地よい汗を流す参加者たち。

那須烏山市ソフトボール協会南那須支部(天池瑛会長)による「第1回ソフトボーラフェスティバル」が、11月23日(土)、緑地運動公園で開催され、参加8チームの中、「チームこぶし台」が優勝を果たしました。

気軽に！楽しく！ 第1回ソフトボーラフェスティバル



仲良し3兄弟(農産物こぶしち子「感謝祭」より)。

まちの話題

◇「広報那須烏山」では、みんなからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材にうかがいます。

総合政策課秘書広報担当
☎0287-83-1112

鳥山地区民俗文化奉仕協会 恒例の年末チャリティショー 師走のまちに歌声響く



自慢の歌や踊りに、観客も大入り満員。

鳥山地区民俗文化奉仕協会による第36回歳末助け合いチャリティショーが、12月1日(日)、鳥山公民館で開かれ、市内外の愛好者105組が、自慢の歌や踊りを披露しました。

同協会では、毎年、春と冬にチャリティショーを開催し、その益金を社会福祉協議会に寄付する活動を行っています。近年は、芸能を趣味にする高齢者も多く、参加者も増えているそうです。

会長の川俣伸さんは、「お年寄りの楽しみの場、そして愛好者の発表の場として好評をいただいている。元気なお年寄りが増え、地域の活性化に少しでもお役に立てれば」と話していました。

天池会長は「これからも親しみやすい企画を考え地域スポーツを活性化したい」と話していました。

荒川沿いの自然環境の保全に取り組む荒川南部地域保全会(阿久津忠一会長)では、12月21日(土)小塙公民館で「猿久保田んぼ公園保全交流会(収穫祭)」を開き、地域住民約50人が交流を深めました。

当日は、早朝から猿久保田んぼ公園で収穫した「もち米」でもちつき体験を行ったほか、交流会では、つきたての「もち」や地元で採れた野菜を使った「豚汁」などが振る舞われ、子どもからお年寄りまで手

作りの料理に舌つづみを打ちました。

阿久津会長は、「猿久保田んぼ公園では年々ホタルの数も増え、同会の活動が生かされていることを実感している。これからも保全活動に力を入れていきたい。また、今後は地域の住民だけでなく市内の人々にも幅広くこの自然の良さを知つてもらう計画も立てたい」と話していました。



会話が弾み交流深まる参加者たち。

おいしい料理に会話も弾む 猿久保田んぼ公園保全交流会

谷浅見下自治会

初めての防災訓練開催



地域に密着した講話会。

熊田診療所所長の有我直宏医師が、11月27日㈬、熊田西自治会公民館で「インフルエンザとその予防」の講話会を開き、住民約20人が参加しました。

講話会は、地域住民に診療所を身近に感じてもらうため、医師との交流を図ろうと初めて開かれたもの。当日は、風邪やインフルエンザの予防と対策を分かりやすく解説した後、参加者からの疑問に丁寧に答えました。

「インフルエンザとその予防」講話 地域住民に向け

有我所長は、「地域の皆さんの健康を守るためにも、病気や心配ごとがあつた時には気軽に診療所に来て相談してほしい」と話していました。

また、市では、今後も継続してこのような講話会を積極的に開いていく予定です。

谷浅見下自治会(高橋新一自治会長)では、12月8日㈰、谷浅見下コミュニティーセンターで初めて「防災訓練」を開き、子どもからお年寄りまで約100人が参加しました。

当日は、烏山消防署職員の指導により、AED(自動体外式除細動器)や心肺蘇生法などの応急救護訓練を行ったほか、消火器、避難所仮設トイレの使用方法やけむり体験等を行いました。また、市役所危機管理室の職員か

ら防災意識の高揚と、自主防災の組織作りについて説明があり、地域ぐるみで防災への関心を高めていました。

高橋会長は、「自分たちで安全安心のために取り組まなければいけないと実感した。今後もこのような機会を設け、地域全体で自主防災の理解を深めていきたい」と話していました。

同自治会では今後、自主防災組織の組織化を進めていくことにしています。



消防器の使い方を教わる参加者たち。



真剣に講習を受ける参加者。

月次自治会で救命救急講習会

月次自治会(小鍋恒男自治会長)では、12月1日㈰、月次地区コミュニティーセンターで「救命救急講習」を開き、住民約50人が緊急時に備え、応急手当の実技を学びました。

参加者は、烏山消防署南那須分署の職員を招き、心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の使い方など3時間に渡って講習を受けました。小鍋自治会長は、「もし、家族に万が一のことがあったときに対処できるように今後も定期的に開きたい」と話していました。

横綱級 140キロのイノシシ捕獲

市では、那須烏山市鳥獣被害防止計画に基づき、獵友会に委託してイノシシの個体数調整を行っています。また、狩猟免許取得費用の補助や電気柵設置費用の補助制度なども導入し、鳥獣被害防止に取組んでいます。

11月13日㈬には、栃木県獵友会南那須支部烏山分会長の水井守さんから、小木須地区で約140キロの横綱級のイノシシを捕獲したと報告がありました。



水井さん(中央)が捕獲したイノシシ。

広告掲載募集中

市では、「広報那須烏山」紙面への広告掲載を募集しています。

■掲載基準

位置：各ページの最下段(表紙除く)

サイズ：縦4.7cm×横8.4cm

料金：2色1回5千円

カラー1回1万円(裏表紙)

詳しくは、総合政策課秘書広報担当(☎0287-83-1112)にお問い合わせください。

市の人口

2013.12.1現在
()対前月比

人口 27,741(-48)

男 13,645 女 14,096

出生 11 死亡 31

転入 25 転出 53

世帯数 9,565

※平成22年国勢調査に基に集計した統計人口です。

編集後記

○新年明けましておめでとうございます。締め切りがいつもより1週間ほど早い1月号もなんとか間に合い、無事に新年を迎えることができました…。今年の目標は、昨年よりもパワーアップした「広報那須烏山」をお届けすることです！頑張りますのでよろしくお願いします！
○個人的な目標は、例年「笑いの絶えない日々を送ること」です。…といつても、我が家では、毎日のようにつっこみどころ満載な「とんちんかんな会話」が繰り広げられています。↓
○冷蔵庫から牛乳を取り出す母「お父さん、あつたかいのと小さいのどっちがいい？」父「じゃあ～、小さいの！」私「…え？」父母私「(大笑)」
○この後、父に出されたのは、小さい牛乳ではなく、「つめたい」牛乳でした(一安心)。こんな事があってからは、毎朝合言葉のようにこのやり取りをしています…。きっとこの調子なら今年も目標達成できるはず？

●おわびと訂正

12月号13ページの「市表彰式／生涯学習まつり・講演会」の記事で、特別功労表彰「高橋トミ」とあるのは、「高橋トミ」の誤りです。また、「樋山政義」とあるのは、「檜山政義」の誤りです。おわびし訂正します。

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★

<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

●一般図書●

『ケネディ暗殺50年目の真実』

ビル オライリー

『これからの日本、経済より大切なこと』

池上 彰

『こわせない壁はない』 鎌田 實

『ノボさん』 伊集院 静

『私のなかの彼女』 角田 光代

『書楼弔堂 破曉』 京極 夏彦

『団塊の秋』 堀屋 太一

『デビクロくんの恋と魔法』 中村 航

『花のベッドでひるねして』 よしもと ばなな

『風立ちぬ／菜穂子』 堀 辰雄

●児童図書●

『日本の歴史の道具事典』 児玉 祥一

『黒田官兵衛』 加来 耕三

『15歳から、社長になれる。』家入 一真

『だれもしらないヒーロー』

きむら ゆういち

『白い街あったかい雪』 鎌田 實

『なんてだじやれなお正月』 石崎 洋司

『ペンギンとざんたい』 斎藤 洋

『はーくしょい』 せな けいこ

『ムーミンのさがしもの』 リーナ カーラ

『恐竜トリケラトプスうみをわたる』 黒川 みつひろ

●DVD●

『ウルトラセブン 1~12』

『仮面ライダー×仮面ライダーウィザード

&フォーゼMOVIE大戦アルティメイタム』

『シューガー・ラッシュ』『大奥～永遠～』

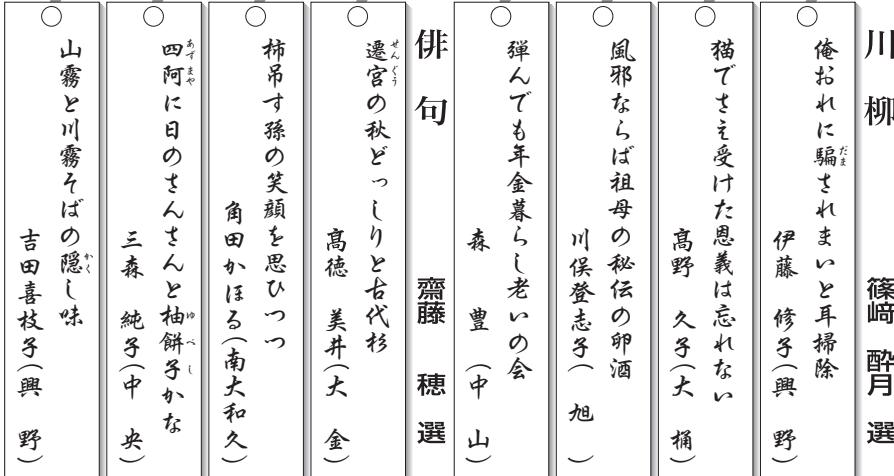
『ワンピース 乙の野望』『リンカーン』

『北のカナリアたち』『バイオハザード5』

『風が強く吹いている』『おしりかじり虫』

川柳

篠崎 酔月選

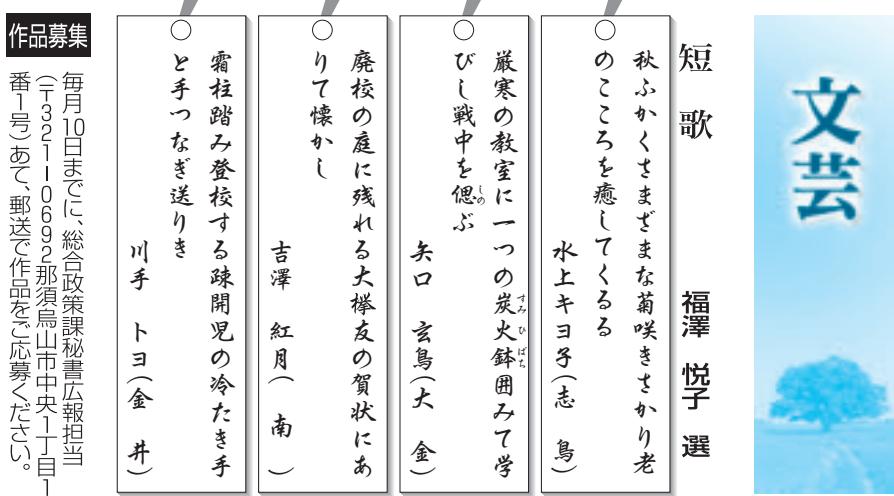


俳句

齋藤 穂選

秋ふかくさまざまな菊咲きさかり老
のこころを癒してくるる
水上キヨ子(志鳥)

短歌 福澤 悅子選



文艺

七合保育園(12月7日(土))



保育園・幼稚園で 生活発表会・お遊戯会

12月に入り、保育園・幼稚園では生活発表会やお遊戯会が盛んに開かれ、園児たちは、一生懸命に練習をした歌や踊り、劇などを披露しました。

各会場では、多くの保護者やおじいちゃん、おばあちゃんの姿が見られ、子どもたちの成長に感動している様子でした。

にこにこ保育園(12月14日(土))



宮原保育園

親子で仲良く体操教室



親子でふれあい。

12月13日㈮、宮原保育園で保育参観が開かれ、親子40人が体操を通してふれあいました。

当日は、幼児活動研究会(株)コスマスポーツクラブの指導員2人を招き、柔軟やリズム感、筋力を鍛える体操を園児たちに指導。子どもたちが頑張る姿を保護者たちが笑顔で見守っていました。中には、親子ふれあいの体操もあり、仲むつまじい姿に教室中が温かい雰囲気につつまれました。



鳥三聖マコア幼稚園(12月14日(土))

有料広告

チラシ・封筒・伝票・看板・ホームページ

フルカラー共同広告
毎月25日発行
1枚5,250円~

アドワークス 烏山 検索

クーナイ
で見る



株式会社 アド・ワークス
那須烏山市野上1162 (寺澤太鼓店前)
Call 0287-83-8633